

令和5年度

精華高等学校

第15回 学校評価結果報告書

I 学校経営計画

II 学校評価

(1) 教職員自己評価

(2) 保護者自己評価

III 学校協議会

IV 総合評価

V 資料

精華高等学校 学校評価委員会

I 学校経営計画

校長 正川 昌彦

(1) 本校がめざす学校像 (Plan)

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導を更に充実させ、基本的生活習慣の確立とマナーの向上をめざす。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の充実・発展をめざす。また、各コースの特徴を強く打ち出すと共に専門性を高める。
- 5 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

(2) 中期的目標【到達目標として】 (Do)

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブの硬式野球部・サッカーチーム・卓球部・剣道部・演劇部・女子バスケットボール部の強化をめざす。また、他の運動部・文化部においても、活動の活性化を図る。それらの活動を通じて地域社会に貢献していく。
- 3 NS コース
高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。
- 4 SA コース
高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。学習・部活動ともに頑張る生徒を育てる。各自自分をしっかりと分析し、それぞれの将来像を描かせる。
- 5 i-Tech・IT 総合コース
基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。さまざまな行事・活動を通して、協調性や社会性を身につけさせる。進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざし、情報に関する全検定を受験させ、コースとして合格率 80%以上を確保する。また、情報の専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。

6 環境福祉コース

高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる。

7 SG・特進選抜コース

全学年において、確実な学力の担保を図り、大学進学実績の向上をめざす。SGコースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。特進選抜コースの3年生は、クラス全員の希望進路を確定させることをめざす。具体的には国公立および関関同立（4女子大学）合格者を複数出すことをめざす。

8 スポーツ健康コース

集団行動により、協調性の育成をめざす。また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。

9 特進総合コース

学習意欲旺盛なクラス作りに努め、希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。高校生としての自覚をしっかりと持たせ、教養を高めさせる。主体的に判断し、行動できる力を育む。

10 学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。生徒の美化意識を高める。保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を検討していく。

11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。SNS等による情報発信を、部活動だけでなくコースの教育内容を含めて強化する。

12 次年度、フリーアカデミーコース（不登校生徒支援を目的とする）の募集を開始する。設立準備委員会において、鋭意準備を進める。

II 学校評価

(1) 教職員自己評価 (Check)

《参考》①～⑩については過去10年間の結果です。

結果) 00.0%は令和5年度の調査結果です。

①2013 (H25) ②2014 (H26) ③2015 (H27) ④2016 (H28) ⑤2017 (H29)

⑥2018 (H30) ⑦2019 (R 1) ⑧2020 (R 2) ⑨2021 (R 3) ⑩2022 (R 4)

*調査結果の%表示については、すべて小数点以下を四捨五入した数値です。

■学校運営

◆私学の独自性

*建学の精神（教育目標）について

〔設問〕建学の精神（教育目標）が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 45.9%

推移) ①40% ②35% ③45% ④44% ⑤39% ⑥29% ⑦40% ⑧25% ⑨47% ⑩29%

*愛校心について

〔設問〕教職員、在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 35.1%

推移) ①43% ②35% ③43% ④32% ⑤34% ⑥21% ⑦30% ⑧25% ⑨37% ⑩24%

◆教育課程

*学習指導要領の対応状況

〔設問〕教育課程は学習指導要領に沿っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 86.4%

推移) ①78% ②93% ③90% ④87% ⑤89% ⑥91% ⑦83% ⑧89% ⑨87% ⑩83%

〔設問〕年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 91.8%

推移) ①40% ②35% ③45% ④44% ⑤39% ⑥29% ⑦40% ⑧86% ⑨80% ⑩88%

◆教職員連携

*教員・教科間連携状況

〔設問〕教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 67.5%

推移) ①52% ②33% ③48% ④47% ⑤39% ⑥35% ⑦53% ⑧61% ⑨57% ⑩64%

* 教員と事務職員の連携状況

〔設問〕 教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 54.0%

推移) ①59% ②42% ③50% ④42% ⑤42% ⑥50% ⑦47% ⑧68% ⑨57% ⑩62%

* 会議の有効性

〔設問〕 教職員会議をはじめ各種会議が、有効かつ効率的に機能している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 40.5%

推移) ①39% ②33% ③23% ④29% ⑤26% ⑥23% ⑦17% ⑧36% ⑨20% ⑩29%

◆財務関係

* 財務に関する意識

〔設問〕 学校の経営指標と財務状況について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18.9%

推移) ①46% ②26% ③18% ④13% ⑤16% ⑥15% ⑦20% ⑧14% ⑨10% ⑩14%

* 評議員・理事会機能について

〔設問〕 評議員会、理事会の役割や機能について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21.6%

推移) ①22% ②7% ③25% ④18% ⑤11% ⑥12% ⑦17% ⑧18% ⑨20% ⑩7%

◆情報公開

* ホームページの活用状況

〔設問〕 学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 70.3%

推移) ①78% ②84% ③75% ④69% ⑤55% ⑥65% ⑦70% ⑧79% ⑨77% ⑩76%

* 授業公開状況

〔設問〕 保護者などへ授業を公開している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 40.5%

推移) ①39% ②33% ③23% ④29% ⑤26% ⑥23% ⑦17% ⑧46% ⑨37% ⑩43%

◆危機管理

* 役割分担について

〔設問〕 事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 78.4%

推移) ①83% ②72% ③80% ④80% ⑤68% ⑥62% ⑦70% ⑧68% ⑨77% ⑩83%

* 危機管理対応状況

〔設問〕 危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 78.4%

推移) ①63% ②61% ③61% ④62% ⑤53% ⑥65% ⑦53% ⑧64% ⑨67% ⑩67%

◆開かれた学校づくり

* 地域交流について

〔設問〕 地域や地域住民との交流ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 59.5%

推移) ①57% ②44% ③52% ④49% ⑤61% ⑥59% ⑦60% ⑧64% ⑨47% ⑩33%

★学校運営に関する今後の改善方策 (Action)

建学の精神および教育目標を、教職員・生徒に浸透させる必要がある。また、教職員・生徒の愛校心は低い状況にあると、教職員は認識している。保護者評価においても「精華高校の社会における評判はよい」の項目の肯定的意見は 55%である。本校の社会的評価を上げるために、更なる教育内容の充実が求められる。進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を推し進めることにより、精華高校の社会的評価を高めると同時に、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。ただし、保護者評価における精華高校の評価は各項目において全般的に高い。また、学校協議会においても本校に対する評価は高く、地域に期待されていることがわかる。

学習指導要領の対応状況は高評価である。シラバス作成は引き続き行うと共に、内容を充実させる。

教員・教科間連携を高める必要がある。教員間の信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。会議の有効性の肯定的評価は若干回復した。

財務関係および評議員・理事会機能については、情報の発信を積極的に行い、教職員の啓発に努める。ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを推し進める。一斉メールの有効な活用により、学校の危機管理体制を不斷に強化し、見直して行く。地域交流については、積極的に行われている。本校は地元との結びつきは強い。

■教育内容

◆情報教育

* 情報能力育成

〔設問〕生徒の情報活用能力の育成を図っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51.3%

推移) ①44% ②40% ③39% ④42% ⑤32% ⑥35% ⑦47% ⑧57% ⑨37% ⑩55%

* 情報モラル指導

〔設問〕情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 48.6%

推移) ①37% ②44% ③39% ④36% ⑤58% ⑥24% ⑦47% ⑧57% ⑨37% ⑩43%

◆人権教育

* 研究体制

〔設問〕人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を、教員が研究する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 43.2%

推移) ①54% ②41% ③37% ④30% ⑤22% ⑥37% ⑦30% ⑧29% ⑨33% ⑩31%

* 教育体制

〔設問〕人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 54.1%

推移) ①41% ②44% ③45% ④27% ⑤32% ⑥35% ⑦34% ⑧50% ⑨30% ⑩31%

◆環境教育

* 環境問題意識の向上

〔設問〕ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 40.5%

推移) ①33% ②37% ③23% ④25% ⑤18% ⑥21% ⑦27% ⑧21% ⑨20% ⑩26%

* 実践的態度の育成

〔設問〕生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また施設・設備を大切にする心を育成している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 40.5%

推移) ①54% ②44% ③32% ④32% ⑤51% ⑥42% ⑦40% ⑧36% ⑨37% ⑩43%

◆健康・食育

* 健康・食に関する指導について

〔設問〕 健康教育、食育などにも配慮している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 16.2%

推移) ①33% ②9% ③16% ④9% ⑤18% ⑥24% ⑦10% ⑧11% ⑨13% ⑩17%

◆生徒会活動

* 生徒会支援状況

〔設問〕 生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活用できるように学校全体で支援している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 64.2%

推移) ①35% ②19% ③22% ④36% ⑤29% ⑥65% ⑦50% ⑧46% ⑨57% ⑩50%

◆その他

* 読書推進

〔設問〕 図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 24.2%

推移) ①52% ②21% ③34% ④29% ⑤21% ⑥12% ⑦17% ⑧18% ⑨13% ⑩21%

* 部活動

〔設問〕 部活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 83.1%

推移) ①65% ②44% ③52% ④51% ⑤53% ⑥53% ⑦70% ⑧82% ⑨87% ⑩71%

* ボランティア

〔設問〕 ボランティア活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 48.6%

推移) ①41% ②30% ③36% ④27% ⑤24% ⑥9% ⑦33% ⑧18% ⑨13% ⑩21%

* 学校行事

〔設問〕 体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89.2%

推移) ①74% ②54% ③71% ④65% ⑤63% ⑥65% ⑦77% ⑧43% ⑨67% ⑩81%

* スポーツ・芸術文化

〔設問〕 スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 62.1%

推移) ①61% ②65% ③75% ④53% ⑤61% ⑥56% ⑦73% ⑧57% ⑨53% ⑩67%

* 国際理解

〔設問〕 他国歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 24.3%

推移) ①9% ②14% ③36% ④18% ⑤24% ⑥9% ⑦27% ⑧11% ⑨10% ⑩14%

★教育内容に関する今後の改善方策 (Action)

最新の設備を備えた E ルーム (ICT 教室) では、オンライン英会話をはじめ、新時代の授業が意欲的に行われている。全館 ITC 化に伴い、時代の要請である教育のデジタル化を推進し、授業の改革を鋭意進めている。令和 4 年度から始まった「新学習指導要領」に合わせて、新コース（5 コース）を立ち上げ、カリキュラムを一新した。生徒一人に一台のタブレットを持たせ、「主体的な学び」を積極的に推進するとともに、情報化社会における様々な情報活用能力を養っていく。また、今年度からフリーアカデミー（不登校生対応）コースを新設した。

時代状況に鑑み、情報教育を充実させていく。携帯電話の校内持ち込みに伴い、携帯のマナー教育、また、急速な情報化社会の進展に伴い、情報モラル教育を強化する。

人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレの全館リニューアル（洋式化）に伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。食育については、大きな課題である。

生徒の自主的な活動としての生徒会活動については、生徒の要求の吸い上げを更に図っていく。学園祭等において、生徒の自主性が育ってきている。生徒会の活動は充実してきている。今後、この方向を更に推進したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。図書のデジタル化に取り組む。部活動の活性化は、本校教育の重要な柱と位置づけている。特別強化クラブとして吹奏楽部を、強化クラブとして硬式野球・サッカー・卓球・剣道・演劇・女子バスケットボール部を指定している。学園として、部活動を支援する体制が整って来ている。また、強化クラブを中心に、近畿大会・全国大会出場など実績が上がってきた。中期的目標として、部活動・文化活動の盛んな精華高校をめざす。

■生徒指導・支援

◆生徒指導

*指導方針の一貫性

〔設問〕生徒指導は学校の方針に従っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89.2%

推移) ①78% ②81% ③78% ④76% ⑤68% ⑥68% ⑦77% ⑧61% ⑨87% ⑩83%

*生活指導について

〔設問〕生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 72.9%

推移) ①70% ②72% ③82% ④71% ⑤74% ⑥68% ⑦73% ⑧64% ⑨83% ⑩69%

*家庭との連携状況

〔設問〕生徒指導において、家庭との連携ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 83.8%

推移) ①91% ②84% ③82% ④87% ⑤89% ⑥82% ⑦80% ⑧79% ⑨93% ⑩81%

◆生徒支援

*学習指導

〔設問〕学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 67.6%

推移) ①65% ②54% ③61% ④73% ⑤63% ⑥56% ⑦67% ⑧68% ⑨67% ⑩62%

*カウンセリング体制

〔設問〕カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。スクールカウンセラーの活用がで
きている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 78.4%

推移) ①63% ②58% ③64% ④65% ⑤71% ⑥79% ⑦87% ⑧64% ⑨77% ⑩67%

*進路指導について

〔設問〕生徒一人ひとりの興味・関心・適正に応じた進路、選択ができるような支援体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 67.6%

推移) ①61% ②75% ③77% ④60% ⑤58% ⑥56% ⑦70% ⑧71% ⑨80% ⑩57%

★生徒指導・支援に関する今後の改善方策（Action）

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から理解され、評価されている。さらに期待に応えられるように努力する。ただし、時代の要請に合わせて、見直すべき点は柔軟に見直して行く。進路指導についても、生徒の多様な進路希望に応えられる、丁寧なきめ細かい指導を堅持したい。進路の情報発信においては保護者の要望が強い。充実した進路情報の発信に努める。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に工夫された、わかりやすい学習指導を行いたい。

■教員研修・資質向上

◆教員研修

*教員の資質向上について

〔設問〕教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。

○ 肯定的見解の割合

結果) 32.4%

推移) ①58% ②61% ③42% ④50% ⑤42% ⑥45% ⑦41% ⑧32% ⑨20% ⑩24%

*校内研修

〔設問〕効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。

○ 肯定的見解の割合

結果) 23.4%

推移) ①63% ②51% ③64% ④38% ⑤42% ⑥47% ⑦30% ⑧29% ⑨33% ⑩36%

*初任者サポート状況

〔設問〕初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。

○ 肯定的見解の割合

結果) 46.4%

推移) ①44% ②42% ③43% ④45% ⑤37% ⑥24% ⑦23% ⑧39% ⑨30% ⑩22%

*校外研修

〔設問〕教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。

○ 肯定的見解の割合

結果) 32.4%

推移) ①33% ②35% ③32% ④42% ⑤39% ⑥44% ⑦23% ⑧32% ⑨37% ⑩41%

*研修成果の共有状況

〔設問〕研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

○ 肯定的見解の割合

結果) 18.9%

推移) ①22% ②14% ③18% ④20% ⑤21% ⑥18% ⑦10% ⑧22% ⑨13% ⑩10%

★教員研修・資質向上に関する今後の改善方策（Action）

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。抜本的に見直す必要がある。また、専門的な知識はもちろん、一般教養についても、教員各自の自己研鑽を強く求める。

(2) 保護者自己評価 (Check)

1 調査目的

- ① 学校に対しての意見・要望、満足度を把握する。
- ② 保護者・教員間の連携を強化し、生徒の学校生活に活かす。

2 実施方法

令和5年2月13日に担任より各家庭に配布。2月21日を期日として回収終了。

調査は無記名。回収は568件。

各項目を以下の4段階にて評価。A Bを肯定的評価 C Dを否定的評価とする。

- | | |
|--------------|---------------|
| A よくあてはまる | B ややあてはまる |
| C あまりあてはまらない | D まったくあてはまらない |

3 結果報告

① アンケート結果

冊子P17に掲載させていただきます。

② [ご意見・ご要望]

【学校全般】

- ◆先生の中には、教師である前に人として礼儀に欠けている方がおられる。生徒と向き合う前にまず自分と向き合ってほしい。一部の質が悪いとされる教師のせいで生徒だけでなく、親も子供を通わせた事を後悔したくない。
良い先生とされる人は、きちんと人の話を聞く姿勢ができていると思います。
- ◆数学Aの先生はとても分かりやすく教えてくれ、論理国語と文学国語先生の授業内容がおもしろい！最近精華高等学校への口コミがかなり厳しい書き込みがあり、気になります。
- ◆クラス替えがないのがとても不満。入学するまで分からなかった。このクラスで3年間同じメンバーで過ごすのは本当に辛いと思う。本人も毎日必死で通っているので
- ◆学校がいやとかもありますが、友だち・先生がいるとよいですし、何か困ったら相談にのってくれると有難いです。
- ◆学校があるお陰で、規則正しく生活出来ていて喜ばしい事です。全体的に学習能力の差がない様子で、勉強も楽しく取り組めている様です。健康で楽しく過ごして欲しいです。ありがとうございます。
- ◆素晴らしい先生方とクラスの友達に恵まれ感謝しております。ありがとうございます。
- ◆プリント類を電子化にして頂きたい。
- ◆子どもはN先生、K先生、音楽の先生の授業は楽しいって言ってました。
N先生は生徒の気持ちをよくわかってくれてると言ってます。
- ◆雨の日の食堂近くの駐輪場までの通路(グランド)の水たまりを無くすように整備して欲しいです。いつも、革靴がビチョビチョに濡れてしまい、翌日までに乾かないし靴もすぐに傷んでしまい、入学してから何度も修理に出ていてかなり困っています。子供達が必ず通る場所なので綺麗に、雨の日でも気持ちよく歩けるようにしてもらいたいです。宜しくお願ひ致します。
- ◆こどもが毎日、楽しく学校生活を送っていて、先生方に感謝しております。ありがとうございます。生徒の事を考え、熱心に教えて下さる先生方がいる一方で、生徒への暴言や失言など一部の先生方やクラブ顧問の先生の話を耳にすることがあり、不安に思うことがあります。これから入学してこられる生徒さんの為にも改善して頂けることを望んでいます。
- ◆①体育の授業について、体調不良で欠席した際に行われた実技テストを受けられず、次の授業に出席した際にテストを受けさせてもらはず、普段の授業への取り組みはきちんとしているのに、素点が欠点になった。担任からも通知表に疑問の声が書かれていた。
②ICTの主教師が授業中に携帯電話を触っており、生徒が質問などをした際も、副教師が教えに回っていると聞いた。生徒に対して、携帯電話の取扱いのことで指導をしたいならば、まずは先生たちからしっかりとルールを守らないといけないのでしょうか。

③iPadの授業などの使用について、年間レンタル料を払っているにも関わらず、見合った使用がされていないことに不満があります。もっと有効活用できるようにして欲しい。

【生徒指導】

- ◆髪が厳しすぎるかなと思う。全体的にルールが少し厳しすぎ時代に合ってない所もある。担任の先生はしっかり指導してくれ本当に助かっているし感謝しています。うちの子供はK先生じゃないと学校辞めてたと思います。
- ◆クラブ活動の終わる時間が遅いと思います
- ◆自転車通学のヘルメット着用のルールを作つて欲しいです。
- ◆真冬の上着着用を許可制度でなく、自由にしてほしい 色など華美にならずの規制はあっていいが、薄いブレザーとセーターでは風邪ひくなと言うほうが無理ではないでしょうか？
- ◆頭髪が厳しすぎるかなと思う。全体的にルールが少し厳しすぎ時代に合ってない所もある。担任の先生はしっかり指導してくれ本当に助かっているし感謝しています。
- ◆強化クラブなのにオフが多いのが気になります。あと、試合数が少なく勝ついくための試合経験値が明らかに低いと感じます。
- ◆携帯電話を触つていなかつたのにも関わらず、当生徒や周りの生徒の証言があるに、意見を聞く耳を持たず、一方的に反省文を書かせるのはおかしいと思います。

【進路指導】

- ◆何とか卒業できる様にフォローしていきたい。
- ◆いつもきめ細やかな対応でこどもに接して下さっています。こちらにお世話になってから、進学に向けて前向きに考えるようになり、本人なりに色々調べているようです。そして、先生方の期待にも応えたいという、良い意味でのプレッシャーも感じていて、中学校の頃より学習意欲は上がっているようです。SGコースの少人数制が合うか合わないか不安ではありましたが、よく見て下さり、生徒間同士も仲が良く、楽しんで通わせて頂いております。感謝しております。ありがとうございます。

【保護者評価に対する校長所見】

たくさんの貴重なご意見、本当にありがとうございます。

まず最初に、精華高校に対しまして、多数の好意的なご意見を頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。ただ、一部の教員に対する厳しいご批判のお言葉は重く受け止め、今後指導して参ります。

昨年の5月よりコロナが5類指定され、教育現場はほぼコロナ前に戻りつつあります。学校行事も修学旅行や文化祭・体育祭を始め、さまざまな教育活動が予定通り行えています。コロナ禍の3年間を通して、教育のデジタル化が大きく前進しました。本校でも全館ICT化の工事を完了していますし、全生徒が一人一台のタブレットを持ち、新しい時代の主体的な教育を行っております。授業中のタブレット使用に関しましては、まだ不十分な面がありますので、今後充実させて参ります。また、全ての生徒にスケジュール帳を持たせ、スケジュール管理の重要性を認識させると共に、高校時代の教育活動の記録を残して行くように指導しています。

保護者評価における設問「生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる」「生徒は礼儀正しく、服装・頭髪等のマナーが守られている」「精華高校に入学させてよかったです」の項目につきまして、多くの保護者の方々に高い評価して頂いておりますことは、我々教職員にとりまして大変励みになります。ありがとうございます。また、高校生活全般に関する項目では、全体的に高い評価を頂きました。精華高校の教育の充実を更に進めて参ります。

精華高校の社会における評価の低さにつきましては、特別強化クラブや強化クラブの指定により部活動が大変活発になり、地域社会における評価は確実に上がって来ております。今後、新コースの教育内容の充実や、進学実績の向上により社会評価の上昇をめざします。

生徒指導について

本校の生徒指導の方針に、多数の保護者の方々のご理解・共感を頂いていますこと、感謝申し上げます。しかし、頭髪指導・校則等、厳しすぎるというご意見もありました。頭髪に関しては、生徒・保護者の強い要望を受けて、一部緩和しています。今後も、社会情勢に合わせた見直しは必要と考えております。また、「いじめ」につきましては、教職員一同「いじめは絶対に許さない」という方針の下に、しっかりと対応して参ります。全校生徒を対象に「いじめに関するアンケート」を実施する予定です。何か気になることがございましたら、遠慮なく学校の方にご連絡下さい。窓口を設けております。携帯電話につきましては、時代状況も考え「持ち込み可」にしております。情報リテラシーの向上と共に、マナー教育にしっかりと取り組んで参ります。

学習指導について

教育活動の基本である授業について、一部わかりにくい授業やうるさい授業があるとのご指摘は真摯に受け止め、不斷に改善を図って参ります。授業の年間計画・内容につきましては、シラバス（年間指導計画）をホームページ上で公開致しております。ぜひ、ご覧になって下さい。「わかりやすく充実した授業」「生徒が興味・関心を持って取り組める授業」につきましては、一定評価頂いております。今後更に、各教員が生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善を行って参ります。本校では昨年度より、教員の授業評価を行っております。「テストの得点だけではなく、いろいろな面から学習の評価を行っている」の項目につきましては、高評価を頂いています。

進路指導について

進路に関する情報提供につきましては、進路指導部を中心にしっかりととした情報発信を心がけています。保護者の皆様のご要望が強いことは、十分に認識致しております。本校は、生徒の多様な進路に応えられるように、丁寧なきめの細かい進路指導体制を取っております。

学校環境・設備についてとその他項目

校舎の耐震化につきましては、以前に建設会社2社に耐震調査を依頼し、本校は新耐震基準をクリアしていることを確認致しております。その際、校舎前面のタイルについて、地震の際はがれ落ちてくる危険を指摘されましたので、外壁工事の際に対策を講じています。校舎の外壁補修工事は全て終了致しました。施設設備の充実につきましては、校舎内壁の全面改修、また、生徒トイレの全館改修（洋式化）も済んでおります。

自転車置き場から校舎に至る通路につきましては、早急に改善策が必要だと考えております。昨夏、第一研修館に冷房を設置致しました。また、体育館には昨夏より、スポット・クーラーを複数台設置し、熱中症対策を講じております。

生徒の校内美化に対する意識は以前より高まりましたが、更に実践的態度の育成に努めて参ります。食堂の改革については、鋭意検討中です。また、学校からの情報発信につきましては、ホームページの充実を図ると共に、一斉メールにより緊急時に関わらず迅速に情報を発信して参ります。一斉メールにつきましては、きめ細かい情報発信を行います。また、SNS等によるコースや部活動の情報発信も、充実して参りました。

【 校長による「学校評価」講評 】

本校の大きな問題点の一つは、教職員・生徒の愛校心は低い状況にあると認識されていて、保護者評価においても「精華高校の社会における評判はよい」の項目の肯定的意見が約 55% であることです。一部の塾においても、本校は低評価です。本校の社会的評価を上げるために、全般的な教育内容の充実が求められます。大学進学率および大学進学実績の向上を図る必要があります。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を推し進めることにより、精華高校の社会的評価を高めると同時に、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う必要があります。

ただし、保護者評価における精華高校の評価は各項目において全般的に高い状況です。また、学校協議会においても地域の本校に対する評価は高く、期待されていることがわかります。地域交流については積極的に行われていて、本校は地元との結びつきは強い高校です。

具体的に教育内容の充実に資するために、昨年度から新コース制（5 コース）を取っています。ニュースタンダード・スポーツ＆アート・スーパーグローカル・iTech・環境福祉の 5 コースで、時代のニーズに合わせた特徴的な教育を行っています。また、5 コースとも土曜日は探究学習に当て、土曜日が楽しみになるようなプログラムを工夫しています。

今年度から、新しいコースと致しましてフリーアカデミーコースを立ち上げております。このコースは、「不登校生救済」に特化したコースで、複数担任制を取り 2 限目から授業が始まり、6 限で終了します。今年度は 20 名の入学生がありました。登校できない時はオンライン学習、また、高水準の ICT 機器の導入により、オンデマンドによる学習も可能です。不登校生徒等を対象とする、「特別教育課程編成指定校」の認定を、文科省から受けております。

さらに、全館 ICT 化を行い、生徒一人一台タブレットを持たせることにより、ICT 教育の推進と主体的な学びを各授業において行っています。

III 学校協議会

令和6年度 学校協議会 議事録

令和6年9月21日（土）10:30～12:30

参加者 東陶器校区自治連合協議会会長
西陶器校区自治連合協議会会長
福田校区自治連合協議会会長
精華高等学校保護者会会长

精華高等学校 学校長 教頭 事務長 参与
主幹 教務部長 生徒指導部長 進路指導部長 ミドルリーダー

配付資料 令和5年度 学校評価結果報告書
令和5年度 学校経営計画および学校評価
保護者対象学校自己評価アンケート結果
令和7年度 学校案内

次 第 校長挨拶 校内（授業）見学 参加者紹介 校長現状報告 意見交換

1. 校長挨拶

酷暑の中、ご来校いただきありがとうございます。昨日は静岡県で、39℃超えの驚くような気温を計測していました。

本校は4月当初より、落ち着いた状態で進行しています。先週、中学校の先生方をお招きし、学校見学の機会を持たせていただきました。ご参加いただいた60名余の大半の方のアンケートに、「午後の授業であったが、非常に落ち着いて驚いた」という声を多く寄せいただきました。

部活動はようやく成果が安定し、良い結果が残せています。詳細は後ほど。しかし、新入生獲得には苦労しています。6年度生は、ほとんど併願者が戻らず、いかに専願応募を獲得するかが生命線となっています。

2. 校内見学

本日は多くのコースで郊外における「探究授業」が行われていますので、空き教室が多いですが、それ以外の教室も「探究」のユニークな授業を行っていますのでご覧ください。

【出席者紹介】

3. 現状報告～校長～

コース制完成の年度に、フリーアカデミーコースの開設ができました。60名を超える事前面談の末、20名が受験し、入学してくれました。当初は登校まばらな教室をイメージしましたが、実際にはかなりの数が登校できています。夏休み明けに若干失速しましたが、体育祭には18名が参加していました。その後も「探究」を通じて、ペースを取り戻せたようです。このコースは大阪府を始め、教育関係者にはかなり関心が高く、5月には二度の府の視察を受けました。

他のコースもみなそれぞれのコンセプトを確立しながら頑張っています。

また、強化クラブもそれぞれ順調に伸びてきました。今春、硬式野球部は府ベスト8のシード校に入りました。夏の大会でも4回戦までは駒を進められる実力校の仲間入りを果たしました。そして、中日ドラゴンズの育成選手であった松木平投手が、本契約を結び、先日のジャイアンツ戦に先発登板を果たしました。

吹奏楽部は安定感を増し、2年連日の関西大会進出を成し遂げてくれました。

卓球部も近畿大会常連校になってくれました。

さて、本業の授業伸張に役立てるために、昨年より「授業評価」を導入し、子ども達の声を吸い上げています。「何を知りたくて、どこを伸ばしたいのか」に耳を傾け、寄り添っています。

加えてこれまで以上にICT導入を加速しています。「DX補助金」1000万円を射止め、3Dプリンター・レーザープリンター・4Kカメラ搭載ドローンなどを駆使した授業を日々提供しています。

そして最後に、保護者の皆様からの評価について触れておきます。実際、本校にお子様をお預けいただいた保護者の皆様からは、感謝の声ばかりを頂き、学校評価はとても高いことを付け加えさせていただきます。しかし、他方、一般社会での本校への評価・認知度はかなり低いのが気に掛かります。

特に塾・予備校などの評価が低い。これは、進学実績の中心が「指定校推薦制度」受験に傾倒しているためと分析しています。今後は一般受験。中でも難関大学への実績にこだわりたいと思っています。

しかしながら、人として不可欠な人間的な部分にも注力していきたい。中でも、挨拶・時間・整理整頓という部分に厳しさを求めて参ります。

4. 意見交換

◆西陶器校区自治連合協議会会長

校内見学時、一部生徒さんがスヤスヤ眠っていたが、暑いし、祭りの時期と言うこともあって微笑ましかった。校内は綺麗で、雰囲気も落ち着いていて、大変良い感じでした。

フリーアカデミーコースのような必要不可欠だが、運営困難なものをよく立ち上げたと感心する。

他コースも含め、入学前にコース選択をするは大変そうに思う。コースによってはクラス替えがないようだが、そこも心配。転コースも出来ないようだが、失敗例はないのか。

祭礼で授業等に支障がないか気は遣っています。何かありましたら、遠慮なく教えてください。

◆東陶器校区自治連合協議会会長

エディオンアリーナでの体育祭に招かれ見学したが、高校生があんなに必死に、しかも無邪気に参加するとは思っていなかつたので、正直驚いた。

探究授業はとても楽しそうでよかった。昨年は太鼓の授業に驚いたが、今年は調理実習が魅力的であった。毎度毎度ネタ変えも大変だと思う。

ニュースタンダードコース以外はクラス替えがないようだが大丈夫か。公立校の削減・統合を聞くが、私学も定員確保は厳しいのか。

昨年に引き続き、バス停下り坂道からの道路拡張陳情を行っている。精華さんにも協力をお願いします。

◆福田校区自治連合協議会会長

体育祭を見学したが、見たこともないオリジナルの種目に感心した。

校内にいたる所でICT機材を駆使した授業が展開され、正直驚いている。フリーアカデミーコースの「探究」ライブ配信は興味深い。時代はここまで来ているのかと思う。説明で聞いた「オンライン」「オンラインデマンド」の適用にも驚いている。

手話の授業は、「探究」のみなのか。とても感心した。科目としてもだが、取り組む子ども達の姿勢に感動すら覚えた。

各コース、授業の工夫は見応えがあった。今後は「人生観」や「環境」「多様性」に特化したテーマ提案もしていって欲しい。

◆精華高等学校保護者会会長

保護者として3年目を迎えていたが、初めて他コースの授業見学ができた。正直、全コース見られたのは嬉しい。外部からECCの講師が来校して、授業サポートしているのも目新しかった。こんなこともしていたのかと初めて知った。

自分の娘が中学時代不登校で、受験前から色々相談して入学を決めた。「学習室」というサポートがなければ今日の娘の姿は無かったと思う。実際はほとんど救援を求めるとはなかったが、あの安心感は絶大であった。子どもに寄り添っていただけるという信頼感は何物にも代えがたかった。感謝しかないう3年間でした。

◆主幹

主幹とは、一言で言うと教育をデザインしたり、コーディネートするような立場です。

最近は全館ICT化のマネージメントをしたり、新コース関連の行政対応を中心にやっています。SGコースのコース長という立場で、生徒募集や、新しい奨学制度の研究などに時間を費やしています。新しいご提案などありましたら、どんどんお願ひします。

◆教務部長

時間割制作や、全校生徒の成績を管理しています。今年度で、全生徒がタブレットを手にしましたので、それをフル活用した授業提供が可能になるようサポートしています。道具があっても使われなければ無意味ですので、その完全運用に注力しています。結構気を遣う仕事です。

◆生徒指導部長

今年度で3年目を迎えました。「生徒の声を聴き、叶える」をモットーに日々努力しています。生徒の目線で、「エンジョイライフ」をめざしてもいます。

今の在校生はまだ、コロナ禍の影響で全体行動の経験が少ない子ども達です。全校集会などの機会でもいいので、みんなに話しかける場面があると言うことを知ってもらいたいと思っている。

地域性もあるが、祭礼などを通じて、地域とのつながりやマナー育成を心がけています。

◆進路部長

令和5年度進路実績は、3学年生268名中の数字です。

大学120名。短期大学11名。専門学校91名。就職23名。

課題は、卒業時、進路未定が23名いたことに尽きます。

最近は各高等学校とも、年内入試を好む受験生が急増しているようです。早く受験という2文字から脱出して、肩の荷を降ろしたいという気持ちが強くなっているのでしょうか。本校ではこれまでその傾向が強かつたですが、さらに加速しているのは事実です。早期対処が求められています。

◆ミドルリーダー

英語・語学教育に特化した新コース「スーパーグローカルコース」を3年間持ち上がりました。今夏のオーストラリアでの英語研修に参加させることを目標に取り組んできました。

苦労の甲斐が実り、無事ネイティブ達ばかりの中の英語によるプレゼンテーションをやり遂げてくれました。大きなミッションを果たせたという安堵感を持つことも許されず、最後の仕上げ「難関大学突破」という最終ミッションが待っています。

まったく胸をなで下ろすときが訪れない中での最終学年折り返しですが、頑張りますのでお力添えをお願いします。

以上 記録：参与

IV 総合評価

建学の精神（教育目標）を、学校関係者に浸透させる努力を重ねて行く。生徒の愛校心は低い状況にあると、教職員は認識している。また、保護者評価において「精華高校の社会における評判は良い」の肯定的評価は約 55%である。本校の社会的評価を上げるために、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進める。また、大学進学率および大学進学実績の向上を図る。生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という評価は堅持したい。ただし、一部頭髪指導等、厳しすぎるという意見もあることに留意したい。髪型や校則等、少し緩めてもいいのではないかという意見も増えてきている。生徒・保護者の意見も参考にしながら、時代に合わせた柔軟な対応を取りたい。いじめについては、絶対に許さないという強い姿勢で臨む。いじめの兆候を早期に発見し、すばやく対応していく。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。進路の情報発信については、保護者からの要望が強いことに十分留意する。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っているが、保護者・生徒の要望が強い「わかりやすい授業」については、更に研鑽を積みわかりやすい学習指導を行いたい。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、さまざまな工夫をして充実させる必要がある。教員研修、教員の資質向上については、抜本的な改革が必要である。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校をめざす。また、時代の要請に応えるべく、学校改革、教育改革を思い切って進め、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

V 資料①

令和5年度 保護者対象 学校自己評価アンケート結果

A : そう思う B : ややそう思う
C : あまりそう思わない D : そう思わない

I 高校生活全般に関する項目

設問	評価				
	A	B	C	D	不明
1 生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる。	29%	55%	14%	1%	1%
2 生徒は礼儀正しく、服装・頭髪等のマナーが守られている。	59%	32%	7%	1%	1%
3 生徒は学園祭文化の部・体育の部、校外研修・コース別宿泊研修などの学校行事に積極的に参加している。	68%	26%	3%	2%	1%
4 学校はコース制などの独自の教育活動に取り組んでいる。	62%	30%	5%	2%	1%
5 生徒に命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	31%	49%	18%	1%	1%
6 学校は生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	31%	48%	17%	3%	1%
7 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	50%	41%	6%	3%	0%
8 部活動は活発である。	52%	39%	6%	3%	0%
9 保護者会活動は活発である。	25%	47%	21%	7%	0%
10 生徒に関する個人情報が守られている。	50%	46%	3%	0%	1%

II 生徒指導に関する項目

1 1 学校の生徒指導の方針に理解・共感できる。	31%	48%	13%	7%	1%
1 2 学校はいじめ等の問題行動が起こりにくい環境を整えている。	20%	57%	18%	4%	1%
1 3 生徒の携帯電話の所持・使用に関して、学校の指導方針に理解・共感できる。	43%	41%	12%	4%	0%
1 4 学校は生徒指導面での連絡や、保護者との意思の疎通をきめ細かく行っている。	35%	46%	14%	4%	1%

III 学習指導に関する項目

1 5 学校ホームページに掲載されている年間指導計画（シラバス）を見ている。	13%	34%	31%	20%	2%
1 6 内容がわかりやすい充実した授業が多い。	14%	61%	20%	4%	1%
1 7 生徒が興味・関心を持って取り組めるように、工夫している教員が多い。	17%	56%	20%	6%	1%
1 8 テストの得点だけではなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。	42%	47%	8%	2%	1%
1 9 授業・講座等で、進路志望達成に必要な学力を身につけることが出来ている。	21%	51%	25%	3%	0%
2 0 各コースにおける専門教科の授業内容は充実している。	35%	50%	12%	3%	0%
2 1 学校は検定・資格取得に向けての指導に熱心である。	23%	50%	22%	4%	1%

IV 進路指導に関する項目

2 2 学校は進路に関する連絡や情報提供を十分にしている。	25%	50%	21%	4%	0%
2 3 学校は進路に関する保護者や生徒の相談に乗ってくれる。	32%	50%	13%	3%	1%
2 4 生徒対象の進路指導部による進路説明会は、生徒の進路決定に役立っている。	19%	57%	20%	3%	1%
2 5 クラス懇談会や進路説明会は、大変参考になる。	22%	55%	17%	6%	0%

V 施設・設備及び環境・衛生に関する項目

2 6 学校の施設・備品は、学習環境の面においてほぼ満足出来るものである。	26%	46%	23%	4%	1%
2 7 教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている。	25%	46%	22%	6%	1%
2 8 学校は清掃が行き届いていて、清潔である。	31%	47%	17%	5%	0%

VI その他の項目

2 9 電話の対応や来校時における教員・事務員の接し方は丁寧かつ適切である。	56%	36%	5%	2%	1%
3 0 学校のホームページは充実しており、よく閲覧している。	15%	41%	29%	15%	0%
3 1 食堂は生徒にとって利用しやすく、充実している。	10%	32%	36%	20%	2%
3 2 緊急時における学校と保護者の連携体制が構築されている。	30%	51%	13%	5%	1%
3 3 学校が発刊している新聞「華」や配布される各種プリント類は必ず読んでいる。	36%	37%	22%	5%	0%
3 4 精華高校の社会における評判は良い。	12%	43%	31%	12%	2%
3 5 子どもを精華高校に入学させて良かったと思える。	42%	46%	7%	4%	1%

V-資料②

令和5年度 精華高等学校 学校経営計画及び学校評価			
中期目標（到達目標として）			
PLAN（重点目標）	DO（具体的取り組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。	<p>教員の授業に対する意識を高める。工夫されたわかりやすい授業を実践する。研究授業を充実させ、授業公開を増やす。</p> <p>本校教務内規成績評価において、昨年度、注意点30点を35点に上げ、生徒の授業に対する意識を高める指導を行った。今年度も引き続き、成績に対する生徒の危機感を高め、しっかりと学習するように指導して行く。</p> <p>今年度から、教員の授業評価を実施する。</p> <p><u>学校自己評価「授業公開状況」「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認しながら評価する。</u></p>	<p>教員の授業を重視する意識は、高まって来ている。工夫されたわかりやすい授業を、常に意識してほしい。</p> <p>教員は、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。</p> <p>コロナ禍の影響を引きずり、授業公開は限定されたものになった。教員の授業評価を、秋に行った。</p> <p>生徒の授業に対する意識は高まったが、まだまだ足りない。</p>	<p>来年度も引き続き、教員の授業評価を行う。その結果に基づき、分析報告会を実施する。</p> <p>公開授業を、出来る限り増やしていく。</p> <p>生徒の授業に対する意識を高めるよう、学校を上げて指導していく。</p>

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブの硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部・女子バスケットボール部の強化をめざす。また、他の運動部・文化部においても、活動の活性化を図る。それらの活動を通じて地域社会に貢献していく。	<p>部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を行って来た。本校の優遇制度は充実している。充実してきた部活動の様子を広く発信し、広報活動を更に強化する。部活動体験会・オープンスクール等の行事の参加人数を増やし、部活動推薦生徒の入学生増加を図る。吹奏楽部・女子ダンス部・ボランティア部・演劇部等を中心に、地域社会に貢献していく。</p> <p><u>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u></p>	<p>部活動体験会・オープンスクール等の生徒募集行事の参加人数を増やし、部活動推薦生徒（専願）の入学生増加を図ることが出来た。</p> <p>吹奏楽部・女子ダンス部・ボランティア部等を中心に、地域社会に貢献することが出来た。</p> <p>部活動の様子を広く発信するために、SNSによる広報活動を行ったが、まだまだ不足している。</p>	<p>部活動推薦生徒（専願）の確保のために優遇制度の充実を図ってきたが、令和8年度からの大阪府授業料完全無償化を受けて、来年度からは奨学金制度に切り替える。</p> <p>SNSによる広報活動を更に充実させ、学校の様子を積極的に発信していく。</p>

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>3 NS コース</p> <p>高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。</p> <p>落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てる。</p> <p>各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。</p> <p>いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。</p>	<p>入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。</p> <p>欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。</p> <p>授業中・昼食時の巡回を実施する。</p> <p>各授業の準備、着席指導の徹底を図る。</p> <p>早朝学習（漢検ドリル）を実施する。</p> <p>教員間の連携を密にする。</p> <p>コース教員だけではなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>	<p>遅刻については、一部の生徒を除いて良好であった。</p> <p>各家庭・保護者との連携を密に行うことについては、ほとんどの保護者とはしっかりと連絡が取れており、連携出来ていた。</p> <p>ただ、数名ではあるが、仕事の都合上、連絡がつきにくい家庭も存在した。</p> <p>授業中・昼食時の巡回はしっかりと行うことが出来た。その結果、授業中の態度も落ち着いてきた。</p> <p>しかし、教科担当によつては、授業が騒がしくなってしまうものがあり、改善することが必要である。</p> <p>教員間の連携については、学年がまたがった場合難しい場面があった。</p>	<p>学校の目標でもある、落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てることは、このコースにおいては特に重視する。</p> <p>また、いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養うことにもしっかりと取り組んで行きたい。</p> <p>その結果、各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせ、各自の希望に寄り添った進路指導を確実に行いたい。</p>

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>4 SA コース</p> <p>高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。</p> <p>学習・部活動ともに頑張る生徒を育てる。</p> <p>各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。</p>	<p>入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。</p> <p>授業中・昼食時の巡回を実施する。</p> <p>各授業の準備、着席指導の徹底を図る。</p> <p>早朝学習（「モノグサ」アプリ）を実施する。</p> <p>教員間の連携を密にする。</p> <p>コース独自の科目や行事を通して、進路を見据えた指導を行う。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SA コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>	<p>早朝学習において、「モノグサ」アプリをうまく活用できなかった。</p> <p>2年生は10月から「スタディサプリ」へ変更したのは良かった。</p> <p>コース全体としては、年間を通して落ち着かない印象があった。</p> <p>ほぼ同じメンバーが繰り返し注意・指導を受けていた。</p> <p>遅刻も同じメンバーが繰り返していた。</p> <p>進路については、明確にイメージ出来る生徒が少ない。</p>	<p>週に2・3日でも落ち着いて静かに勉強させる習慣を身に付けさせるためにも、早朝学習は継続する。</p> <p>勉強・部活動とともに頑張る生徒を育てるために、生徒指導・進路指導を工夫する必要がある。</p>

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>5 i-Tech・IT 総合コース</p> <p>情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。そのため情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。</p> <p>進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。情報に関する全検定を取得させ、コースとして達成率 100%をめざす。</p>	<p>i-Tech コース（1年生）は入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。</p> <p>保護者との連携を密に行い、生徒一人一人が自己管理を適切に行えるように指導し、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。</p> <p>コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。</p> <p>希望進路の実現に向けて、積極的に教員がアプローチする。</p> <p>生徒の情報をコースで共有し、組織的に対応できる体制を整える。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者価等を確認しながら、i-Tech・IT 総合コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>	<p>情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。そのため情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。</p> <p>また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。これらの目標、コース理念は十分に達成することが出来た。</p> <p>学年によって、検定合格率 80%以上を達成することが出来なかった。各クラスの生徒について、日常の情報は共有することが出来た。</p> <p>IT 総合コース（3年生）は、進路について自主的に行動して進路を決めることが出来た。</p> <p>教員間の連携もしっかり取れていた。</p>	<p>情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。そのため情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。</p> <p>また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。</p> <p>以上のコース理念を引き続き掲げ、社会に有為な人材を育てる。</p> <p>コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。</p> <p>IT 総合コースは、今年度で終了となる。</p>

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
<p>6 環境福祉コース</p> <p>高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる。</p>	<p>1年生は入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を減らすよう努める。希望進路の実現に向けて生徒の情報をコース内で共有し、組織的に対応できる体制を整える。生徒と個別に話す時間を出来るだけ増やす。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、環境福祉コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>	<p>高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育むことをコースとして目標に掲げているが、生徒によって取り組みに差があるのは如何ともしがたい。コースの特色を活かした教科実習や活動が、進路決定につながる場合もある。クラス替えがない上、3年間同じ担任が継続して指導することの難しさがある。保護者との連携は、取れていた。</p> <p>環境福祉コースの活動の様子を、動画で発信することが出来た。</p>	<p>コースの特性に鑑み、「高齢者福祉施設」「こども園」での実習をコロナ禍以前のように復活させ、生徒の成長に繋げる。</p> <p>コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につながるような教育活動を行う。</p>
<p>7 SG・特進選抜コース</p> <p>全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。</p> <p>SGコースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。</p> <p>特進選抜コース3年生は、大学進学を見据えた学習を行い、クラス全員の希望進路を確定させる。</p> <p>具体的には国公立および関関同立・産近甲龍・4女子大学の合格者5名以上の実現をめざす。</p>	<p>SGコース（1年生）は入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。</p> <p>放課後・長期休業中の受験講座・指導を充実させる。早朝学習・大学見学会・進路講演会・勉強合宿等を実施する。</p> <p>生徒募集対策室・広報を中心、募集・広報の体制を強化し、SGコース入学生の増加を図る。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SG・特進選抜コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>	<p>1年生については、学力向上をめざした放課後のキャリア講座（英検対策・オンライン英会話・学内自習室）は、各自の受験する級にクラス分けしたこと、明確な目標と対策が出来た。2年生においては、目標の偏差値50以上達成者は残念ながらいなかった。英検2級合格者を出した。オンライン英会話に関しては、ほとんどの生徒が積極的に英語で発言出来るようになっている。また、リスニング能力は飛躍的に伸びている。受験に必要な文法力が伴っていないことが問題点である。3年生特進選抜コースは、掲げた進学実績の向上については、指導力不足もあり達成出来なかった。</p> <p>最後にSGコースとして、十分な募集活動が出来なかつた。</p>	<p>学力向上をめざした放課後のキャリア講座（英検対策・オンライン英会話・学内自習室）は、更に充実させていく。</p> <p>進学実績の向上に資するようなコースにして行く。</p> <p>SGコースとして、募集活動をしっかりと行う。</p> <p>特進選抜コースは、今年度で終了となる。</p>

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善の方針)
<p>8 スポーツ健康コース</p> <p>集団行動により、協調性の育成をめざす。また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。</p> <p>さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。</p>	<p>保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。</p> <p>授業を集中して受ける習慣を身に付けさせる。</p> <p>教員間の連携を密に行い、コースの生徒のさまざまな情報を共有する環境を構築する。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、スポーツ健康コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>	<p>日頃より落ち着いた学校生活が送れるようにその都度、見守り注意をしてきた結果、大半は進路に向けて落ち着いた学校生活が送れていた。しかし残念ながら、一部の生徒は協調性を十分に身に付けることが出来ず、何度も生徒間トラブルを起こした。遅刻・欠席は、保護者との連携が密に出来ていたので、全体的に少なかった。教員間の連携はしっかりと出来た。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させることは出来た。</p>	<p>このコースは、今年度で終了となる。</p>
<p>9 特進総合コース</p> <p>高校生としての自覚をしっかりと持たせ、礼儀・道徳心の育成に鋭意取り組む。</p> <p>学校生活に正しく取り組み、社会に出たとき実践できる主体性を身に付けさせる。</p> <p>希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。</p> <p>将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。</p>	<p>自分の興味や関心を明確にし、将来の職業選択を見据え、何を学ぶか考えざる。</p> <p>受験に対応する実践力を養成する。進路に対する意識を高め、希望進路の実現を図る。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、特進総合コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p>	<p>高校生としての自覚をしっかりと持たせ、礼儀・道徳心の育成に鋭意取り組む、また、学校生活に正しく取り組み、社会に出たとき実践できる主体性を身に付けさせることは、コース教員間でしっかりと意識し、取り組むことが出来た。</p> <p>1年次より根気強く指導してきた結果、他者を尊重し協調性のあるコースに育った。教員間の情報共有・協力体制は十分であった。</p>	<p>このコースは、今年度で終了となる。</p>

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
10 学校施設・設備の充実を図る。 清潔・安全な学校をめざす。 生徒の美化意識を高める。 保護者・生徒からの要望の強い食堂の改革に取り組む。	視聴覚室の老朽化した機材を、最新の設備に入れ替える。研修館の空調を整備する。 FA コースの立ち上げに伴い、授業のオンライン化などクラウドシステムを導入する。 講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。	視聴覚室については、予算の関係で次年度に行うことになった。 研修館の空調は整備できた。 FA コースの 3 教室に、クラウドシステム（パノプト）を導入した。 生徒の美化意識を高めるための取り組みは、講話・清掃指導等により学校・各コースで進んでいる。 食堂の改革は、進んでいない。	次年度、視聴覚室の老朽化した機材を、最新の設備に入れ替える。 引き続き、学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。 SNS 等による情報発信にも取り組んで行く。	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。 ホームページの情報発信を、更に充実させる。本校の斬新な広報を継続する。 各コースに担当を置き、SNS 等による情報発信を活発に行う。 <u>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図ることは出来ている。 ホームページの情報発信については不十分だった。 各コースに担当を置き、SNS 等による情報発信を行うことは出来たが、まだまだ足りない。	引き続き、広報の充実・強化を図り、本校の部活動・コースの魅力を積極的に発信する。 SNS 等による情報発信を活性化させる。
12 学校の DX 化を進めていく。 FA (フリーアカデミー) コース準備委員会を立ち上げ、コースの教育内容を確定する。文科省の不登校特例校の認可を得る。このコースの生徒募集を始める。	全館 ICT 化、生徒一人一人 (1・2 年生) にタブレットを持たせることに伴い、主体的な新しい教育に挑戦していく。 アクティブラーニングを推進する。 E ルーム (ICT 教室) の活用を進める。 フリーアカデミーコースの教育内容を確定し、生徒募集の戦略を練る。 <u>学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。</u>	FA (フリーアカデミー) コースの教育内容を確定した。 文科省の不登校特例校の認可を得た。 60 名余りの相談を受け、コースの趣旨に合う 20 名の専願入学生を受け入れることが出来た。 タブレットの活用およびアクティブラーニングを意識した授業は、増えつつある。 E ルーム (ICT 教室) は、活発に利用されている。	今後更に、学校の DX 化を進めていく。 各方面から関心の高い FA (フリーアカデミー) コースの教育内容を充実させる。